

(作成年月日) 2023年10月16日

## (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 香川大学医学部附属病院におけるがん患者の苦痛緩和のための鎮静の実態調査

### [研究の目的]

鎮静を開始する際には、緩和ケアチーム(palliative care team:PCT)を交えた多職種での話し合いを実施するプロトコルを作成しようと考えた。それに先立ち、本研究では当院での実態調査を目的とし、今後の鎮静の向上に役立てるため

### [研究の方法]

対象となる患者さん

2022年10月1日から2023年9月30日に当院一般病棟を死亡退院された方

利用する検体・情報

情報:

患者背景として、年齢、性別、がん種、診療科、入院時 Performance statu (PS) (Eastern Cooperative Oncology Group: ECOG)、入院経緯、入院期間、PCT介入の有無、死亡前1カ月以内の抗がん治療歴、死亡前48~72時間の輸液量などを調査する。

また、鎮静の施行状況としては、鎮静の有無、鎮静の対象症状、鎮静期間、鎮静の分類(間欠的鎮静/持続的鎮静 調節型鎮静 持続的深い鎮静)、鎮静薬とその投与量、併用薬とその投与量、意思決定過程などについて調査する。鎮静様式に関しては、診療録の経過記録、鎮静に関する説明同意文書や説明内容の記録、カンファレンス記録などから総合的に判断する。

### [研究組織]

香川大学医学部附属病院精神科神経科 助教 上野祐介

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院精神科神経科

担当医師 上野祐介

電話 087-891-2167 FAX 087-891-2168